

第9号

残暑厳しい日が続きますが、職員の皆様いかがお過ごしでしょうか。しばらくごぶさたしておりました。今年度初の「GOOD CARE NURSE」新聞は、外来特集です！外来では、地域連携や看護外来、放射線治療など、積極的に新しいことに取り組んでいます。「外来看護のここがいいね！」を紹介していきます。



2022 年 9 月発行



看護外来（ストーマ外来）



ストーマ外来では年間 600 件、ストーマを持つ方々のサポートをしています。コロナ禍前は、訪問看護師とご自宅に同行訪問を、週 1 回行っていました。ストーマ保有者のニーズも年々変化しており、過去の困った経験は「排泄物が漏れる」だったのですが、近年は「ストーマ袋が膨らむ」に変化してきています。変化するニーズに合わせた QOL と地域での生活を支援しています。

透視室



今年度、透視室のリーダーの富山さんです。透視室では、毎日 20 件くらいの治療や検査を実施しています。外来患者さんに対して、待ち時間が少なくすむよう、そして帰宅後に困らないよう、治療後の注意点をわかりやすく説明するなど考慮して対応しています。入院患者さんに関しては、ハイリスクな治療や検査も多く、急変することもあります。今年度は医師と協力し、透視室での急変事例に対し、シミュレーション学習を企画し、9 月に実施する予定です。インタビューで初めて判明しましたが、透視室で一番急変しやすい事例を扱っているのは、19 番の多目的透視室だそうです。

看護外来（糖尿病看護相談）

フットケアナースとして力を発揮されている岡村さんは、糖尿病の患者さん、循環器の患者（CLI）患者さんに対し、傷ができていときのフットケア、傷を作らないための予防的フットケアを行っています！糖尿病になって、5 年 10 年経った患者さんは、足に悩みを持っている人も多くいます。どこで相談したらよいのかわからず、悩んでいる方も多く、足を見てもらえることに、大変喜んでいただけるそうです。患者さんは、医師の指示で看護外来に受診されます。足の状態や既往歴により、爪の切り方もいろいろ方法があるそうです。コロナ禍で、オンラインでいろいろと勉強できるそうです！後継者大募集だそうです。フットケアについて学びたい人はお気軽にご相談ください！



放射線治療部

リニアックの松本さんです。がんの患者さんにとっては初体験の放射線治療。できるだけ治療に対するイメージがつかめるようにシミュレーション時に、模型を使うなど工夫しています。放射線の治療は長い人で 40 回近く行うので、「看護師さん」ではなく、「松本さん」と呼んでもらえるくらいの関係性が築くことができ、やりがいを感じています！放射線技師とも連携を取りながら、日々、治療を受けている患者さんを支え、ケアを実践しています。今年はもっと病棟の看護師さんに、リニアック治療室のことを知ってもらいたいので、治療室探検ツアーを企画しました！コロナの流行で延期していますが、10 月から順次開催予定です！どうぞ期待ください！

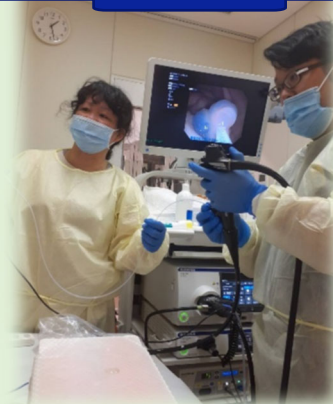


リンクナースと退院調整看護師、認定看護師とのカンファレンス



吉谷看護師は、退院支援リンクナースをしていた 3 年前から高齢患者の介護度や活用している社会資源を患者カルテの掲示板に記載し、病棟スタッフが早期から地域連携を取り組めるように、全診療科で定着を図っています。今年度の外来目標では、「**外来看護の専門性を高め、地域医療包括システムを意識した看護の提供を行う**」ことをあげています。外来では、医療依存度の高い患者のケアには、比較的慣れています。しかし、高齢者や認知看護については知識が不足しており、リソースを活用して、外来看護の質の向上を図るため、委員会を中心に取り組んでいます。今後は病棟看護師からのサマリーを活用して、外来看護や地域連携の推進を図っていききたいと思います。病棟から外来に向けて、継続看護が行えるよう、看護サマリーの記載をよろしくお願いします。

内視鏡室



内視鏡室では、毎日 40 件近くの検査・治療が行われています。今までは内視鏡技師の資格を持っている看護師しかしていなかった EMR やクリッピングを、内視鏡室で 2 年以上勤務している看護師もできるようになり、今年度の取り組みとしてハンズオンでの経験を積みながらスキルを身につけ、実際に挑戦しているとのこと。スキルアップになっていること、治療に参加していると実感できることが、モチベーションアップにつながっています！また、看護師の技術が上がったことで、医師たちの業務負担も減り、喜ばれています。日々、技術を磨いています！

今回は 11 月頃に発行予定です。コメディックスで皆様からの意見をお聞かせください。皆さんからの自薦、他薦は問いません「いいね！」情報をお待ちしています。発行元：看護部定着活動委員



外来田代師長さんからのメッセージ

今年度より外来・放射線科は新体制となり、「暮らしと医療をつなげる」「外来・放射線科と病棟の連携」を強化すべく、みんなで力を合わせて頑張っています。勉強会やカンファレンス、院内留学など、病棟とも色々な場面でコラボレーションしたいと思いますので、今後ともよろしくお願いします。そして、何よりも安全な看護の提供を考え、もっと病棟と連携できることを模索中です！ケアの 1 つ 1 つの意味や根拠を考えながら治療にも参画していきます！！